

市民美術展
令和4年10月26日～
11月1日
野幌公民館ホール
ギャラリー

第三十六回市民美術展はコロナ禍のため二〇二一年開催を中止して二〇二二年開催となりました。

出展者と来場者は若干減少したものの六十五名が出展、八百四人の来場者がありました。開催を待ち望む市民の多いことに実行委員もホッとすると同時に、市民美術展の重要性と活動のやりがいを感じた次第です。また、新しく七名が出展されたことは絵仲間が増えたことで、これからの作品が楽しみです。

市民美術展は絵の好きな実行委員のボランティア活動により運営されています。美術展への発表や受賞がきっかけで、生涯の趣味として長く楽しんでいる方も大勢います。絵を描くこと、創作の喜びは活力を生み、暮らしにも潤いが生まれます。上手い下手は問題ではなく、それぞれの生活、思い、記憶、さらに将来の希望を表現するためのものです。市民美術展は絵を楽しむ



む市民が発表して観る場です。

同時に、作者の多くは高齢になりましたが、それぞれ精魂込めた作品に、元気でほつらつと暮らしていることを互いに確かめあう機会でもあります。どんな作品を出展しようか？ 賞は気にせず、今年も思いを巡らし楽しみましょう。

第三十六回展の受賞者

- 市民美術展賞 設楽征克「牧場遠景」油彩F100号▽江別市文化協会理事長賞 岡村祐子「風光り、春芽吹く」油彩F80号▽江別市長賞 宮野政子「五月の羊蹄山」水彩F40号▽江別市教育委員会教育長賞 田村道子「初夏に響く水の音」油彩F60号▽諏訪田賞 秋山憲「生きる力」アクリルF100号▽江別美術協会会長賞 竹森登美子「大雪山に抱かれて（比布町）」油彩F100号▽奨励賞 片瀬恵子「はな」水彩F30号、堀部敏「あかね雲」版画F12号▽小品奨励賞 保科美智子「バケツを囲む秋」
- 油彩F10号、大内孝典「アオサギ」水彩P6号、西孝明「七月の溪流」水彩F10号、岡田秀治「江別大橋から美原大橋を望む」水彩F6号、小濱健一「画（かく）R4-1」パステルF6号

(江別市民美術展実行委員長 砂山 信二)

市民美術展 文化祭 69
令和4年 11月3日～5日
江別市コミュニティセンター

第六十九回江別市民文化祭の展示部門に、孔版画を中央公民館で展示する事が出来ました。十一月三日より五日まで、前年に続き新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、手の消毒を実施百七十九名の来場の方々に、額入を



含め二十一点の作品を鑑賞して頂きました。又、十一月十二日と十三日には、第四十九回石狩管内郷土芸術祭の展示部門にも参加し、江別市コミュニティセンターホールに、孔版画による令和五年度のカレンダーを、初めて展示することが出来ました。長引く新型コロナウイルス感染症が終息し、作品の製作者と会場に足を運んでくれた方々が、気軽に交流出来る文化祭になることを、祈念するだけです。

(代表 佐藤 貞男)



市民菊花展

●令和4年11月3日～5日／江別市コミュニティセンター

江別市民文化祭に併せ、江別市菊友会の市民菊花展は三年以上続く新型コロナ禍の中、感染対策をしながら会員の大菊・小菊・懸崖など百八十鉢以上の出品展示になりました。ご来場者二百六十余名と例年通りの開催ができホッとしているところです。

令和五年は江別市の花でもある「菊」の普及、会員の技術向上、初心者向け



の講習等、親睦など徐々に活動を再開させて行こうとしております。
春、小さな苗から育てはじめ、秋の文化祭に向けてたつぷりの時間と愛情をかけながら優雅な開花を楽しみに一喜一憂しながら手入れします。
ご興味をお持ちの方、一緒にやってみたい方は事務局又は会員にお問い合わせください。

(堀込 廣市)

短歌大会

●令和4年10月23日
●野幌公民館

江別市長賞

二川原 登

こわごとと植えし椿の花開き

庭一番の役者となりぬ

江別市議会議長賞

菅野 礼子

二夏を空き家となりし窓に灯の

ともりて人の住む温さかな

江別市教育長賞

白井美和子

剪定の手を一休み亡き夫の

思い残せる辛夷が戦ぐ

江別市文化協会理事長賞

宮川 恭一

光なき辻井伸行ピアノ曲

希望に溢る音色に感動

江別短歌会会長賞

長谷川敬子

はちまきは銀座の手拭えいえいと

地球の縁の大根を抜く

北海道新聞社賞

村山 綾子

残忍なニュース続けどいしましたが

誕生祝の花束届く

短歌を詠みませんか

【会費】

入会金なし、年会費1,500円
その他歌集費1,500円。

【問い合わせ先】

事務局 菅野礼子
TEL 011-385-5676



江別市
文化祭
69

俳句大会

令和4年10月30日
中央公民館

●一般の部入賞作品

市長賞

大花野昔木製飛行場

横山いさを

議長賞

花鉾のがれて風の吾亦紅

中村ひろむ

教育長賞

文化祭青き太陽見つけたる

丹羽 雅春

文化協会理事長賞

戯れあふて頭を打ちあへり吾亦紅

古川ウチ子

横山いさを講師賞

北へ行く一本道の虫の闇

西村 榮一

江別俳句会代表賞

支笏湖を手鏡として雁渡る

安井 強

●中学生の部入賞作品

天賞

伊予柑のかおりをつつむ大きな手

江陽中学校三年 山田 裕奈

地賞

滝落ちて真珠川面を飛び跳ねり

大麻中学校三年 金山 壮平

人賞

渡り鳥くの字きれいにどこまでも

江別第二中学校二年 石田 昂聖

優秀賞

大根が届く玄関そんな時期

江別第二中学校二年 河瀬登々子

君は今空を眺める冬銀河

江別第二中学校二年 菊地 暖

短夜や語り明かして北の宿

大麻東中学校三年 生田 那奈

静けさやねぶたの顔もハの字眉

大麻中学校三年 小向 伊織

朝の風ちくちくちくり冬の匂い

中央中学校三年 村上ひなた

●高校生の部入賞作品

天賞

照紅葉夢握りたる赤子の手

立命館慶祥高等学校三年 原田 佳苗

地賞

マフラーに首をうずめて待つホーム

とわの森三愛高等学校一年 興村 葵

人賞

月に咲く月下美人は淡い恋

とわの森三愛高等学校一年 小林 心

優秀賞

宮島の鳥居と鹿がいい感じ

江別高等学校二年 澤田くるみ

けもの道どんぐり落す小さな影

とわの森三愛高等学校一年 森田 真由

木枯らしが後ろ姿を過ぎてゆく

とわの森三愛高等学校一年 野澤直太郎

雪虫が顔にぶつかる冬が来る

とわの森三愛高等学校三年 鰐淵 遙斗

落ち葉踏み奏でられるは行進曲

とわの森三愛高等学校三年 溝部 皓平

江別俳句会 会員募集中

初心者大歓迎

【会費】

月額300円 + 年会費2,000円

【句会】

毎月第2水曜日 午後1時～4時
江別中央公民館(江別コミセン)

【問い合わせ先】

西村榮一 TEL 011-383-0641





江別市長賞

少年の青きうなじに降る戦火

福栄 知舟

江別市教育長賞

陽だまりに等身大の笑い声

宇佐美慎一

文化協会理事長賞

逢いたくて水玉の傘くるくるり

清水ひろ子

各題の特選句

「模様」浪越靖政選

逢いたくて水玉の傘くるくるり

清水ひろ子

遮断機の向こうはかすみ恋模様

岡本恵美子

木漏れ日の模様をつけて逢いにゆく

落合 魯忠

「旅」清水ひろ子選

山が呼ぶ海が待つから旅は好き

梶原 百華

各題の特選句

柔らかな翼広げて子は巣立つ

宇佐美慎一

神の手の中で私の旅つづく

佐藤 芳行

「あおい」坪井 政由選

あおいまま温めている秘めた恋

川本 萇香

余白ありまだまだ青い未来地図

清水ひろ子

少年の青きうなじに降る戦火

福栄 知舟

「自由吟」佐藤 芳行選

陽だまりに等身大の笑い声

宇佐美慎一

昨夜から儂き人の午後を知る

落合 魯忠

艶やかに生き抜き抜き瑠璃の彩に染む

福栄 知舟

- ▼優勝 落合 魯忠
- ▼準優勝 宇佐美慎一
- ▼三位 清水ひろ子
- ▼四位 福栄 知舟
- ▼五位 横堀由紀子
- ▼六位 岡本恵美子
- ▼新人賞 藤岡 章一

〈参加人数五十六名 集句三百九十八句〉

川柳を始めませんか

■江別川柳会 ■会長 坪井政由

【句会】

毎月第4土曜日の午後/野幌公民館視聴覚室/参加費300円

【浪越靖政の楽しい川柳】

初心者講座/毎週第4土曜日の午前中/参加費500円

【問い合わせ先】

事務局 折原博美 TEL 011-381-0268

【投句先】

嶋口幸美 〒069-0821 江別市東野幌町46-10



令和4年度

第46回道民芸術祭 兼 第49回石狩管内郷土芸術祭

【舞台部門】

令和4年9月11日(日)、石狩市花川北コミュニティセンターで開催され、開会式で、石狩管内の「文化奨励賞」として津澤美智子さん(大麻千鳥会会長)が表彰されました。

また、「語り・ひとり芝居ぐるーぷうるうる亭」が出演しました。



【展示部門】

●Bブロック作品展を終えて

令和4年11月12日(土)、13日(日)の2日間、江別市コミュニティセンターホールを会場に、4年に1度の江別市開催を多くの観覧者(340余名)の皆さんとともに楽しみました。参加4市町村の特色ある作品群に心癒される秋のひと時となりました。次回は新篠津村での開催が予定されています。是非お出掛け頂き、ご観覧ください。